

山形のごっつおがここにあります

大いなる最上川が育んだそばの味

山形県の母なる川、最上川。舟運時代、その中流にある碁点、三分額、隼の三地点は、通過するのに困難を極めたため「最上川三難所」と呼ばれ、船頭たちに恐れられていました。しかしその三難所も陸路の発展とともに、交通路から観光名所へと変わり、今では「奥の細道」にも登場した雄大な流れを眺めながら舟下りを楽しむことができるようになりました。三難所沿いにあることから名の付いた「最上川三難所そば街道」でおいしいそばに出会いませんか。

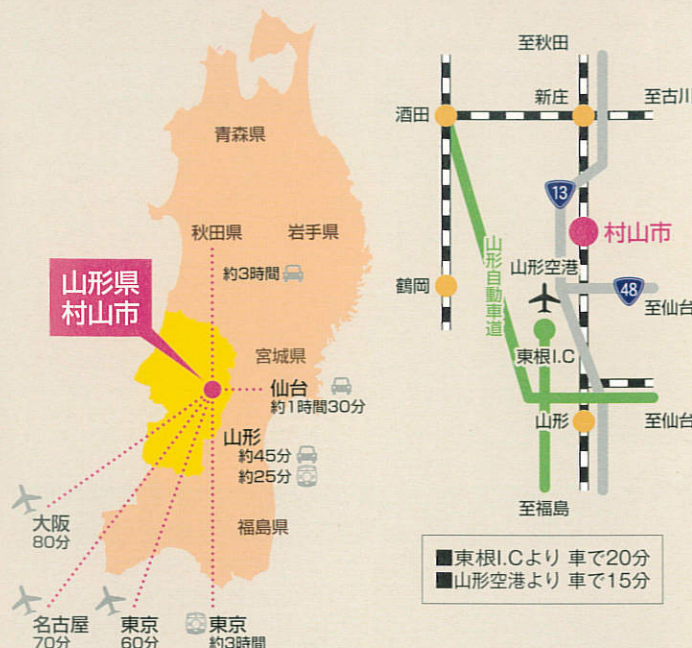
最上川三難所 そば街道のルーツ

最上川の流れてそば屋が多く立ち並ぶ村山市。昔から農家の多いこの地域では、大勢で田植えや収穫などの農作業をした後、労をねぎらう「そば振る舞い」でおなかを満たしたといいます。以前は、どこの家でもそばを作り、みんな揃ってそばを食べていました。そば街道は、その伝統を受け継ぎ、村山に伝わるそばを多くの人に食べてもらおうと始まりました。村山市では平成6年にそば屋が軒を連ねる15kmの道のりを「最上川三難所そば街道」と名付け、おいしいそばが食べられる里・村山市として祭りやイベントなどを開催し、そばに親しんでもらおうと市をあげて取り組んでいます。

村山のそばがおいしい理由

日本三大急流のひとつである最上川と、葉山の雄大な自然に囲まれた村山。寒暖の差が激しい気候がそばの旨味のもとであるデンプンを多く生み出すため、そば栽培の適地といわれています。そばは作業の途中で少し手を休めただけで、味が変わってしまうほどデリケートな食べ物。それだけに、熟練した技と原料の良さがおいしさの決め手となります。村山のそば職人たちは、ひとつひとつの行程を手抜きせず、丹精こめて行う先人のそば作りの精神を受け継ぎながら、毎日のそば作りに励んでいます。また、さらなるおいしさを求め日々研究を重ねる熱意が、村山のそばを味わい深いものにしていきます。

村山市への交通機関のご利用



- ◆村山びゅう旅センター ☎0237-55-2221
- ◆駅レンタカー村山営業所 ☎0237-52-5222
- ◆タクシー
 - ・ 楯岡交通 ☎0237-55-3131
 - ・ 村山タクシー ☎0237-55-4321

お問い合わせ

村山市商工観光課
一般社団法人 村山市観光物産協会

〒665-8666 山形県村山市中央一丁目3番6号
TEL.(0237)55-2111 FAX.(0237)53-5950
ホームページ <http://www.city.murayama.lg.jp>



おくのほそ道最上川そば三街道協議会受賞



最上川三難所そば街道は、山形セレクトの認定を受けています。

元祖そば街道
最上川三難所
そば街道

山形県村山市

最上川三難所そば街道振興会
おくのほそ道最上川そば三街道協議会

最上川三難所三ヶ瀬みかのせ